

## 町の重点対策 と課題

町では、制度改正により実施しなければいけないことと今まで行ってきた安平町の実態とを照らし合わせながら事業の見直しを行っています。

特定健診ではメタボリックシンドロームに特化した対策ですが、安平町ではたとえば腎疾患などの実態も多くなっていることにも着目して町（国保）としていくつかの検査項目の追加も行っています。

また40歳からとする対象年齢を20歳から39歳の町民（国保の加入者に限定しない）に間口を広げた対策を行い効果の拡大を期待します。

次に制度改革の過渡期としては、いろいろな問題や課題が想定されます。

保健指導については対象者の間口を広げたことによる問題が生じます。

特定保健指導と検査項目を増やしたことによる指導体制の確立は課題となっており、対象者が多くなれば対応するスタッフの問題も出て

くると思います。

専門機関に委託する方法もありますが、支出経費の負担は国保で行うものとなります。

課題はいくつかありますが、加入者の方がどれだけ関心を持って健診を受けてくれるかが一番の課題です。



検査内容は？

	健診項目	国の基準	安平町（国保）
血管への影響（動脈硬化の危険因子）	身体計測	身長・体重・腹囲・BMI	○
	血圧	収縮期血圧	○
		拡張期血圧	○
	肝機能	AST(GOT)	○
		ALT(GPT)	○
		γ-GT(γ-G T P)	○
	血中脂質	中性脂肪	○
		HDL コレステロール	○
		LDL コレステロール	○
	血糖	血糖値	いずれか
HbA1c		○	
代謝系	尿酸	○	
貧血検査	ヘマトクリット値	選択的に実施する項目	○
	血色素量（ヘモグロビン）		○
	赤血球数		○
血管変化	腎機能	血清クレアチニン	○
		e GFR	○
	心臓 脳	尿蛋白	○
		心電図検査 眼底検査	選択的に実施する項目

★は前年度健診結果において、血糖、脂質、血圧、肥満のすべてが基準に該当する所見だった方で医師が認めた方にのみ実施します。

安平町の特定健診は検査項目が充実しています。

動脈硬化の危険因子となる内臓脂肪の蓄積、糖尿病、脂質異常、血圧の状態と併せて、町の国保では血管の傷みが進行していないかをみるために検査項目を独自に追加しています。

## 特定健診を 受けるには

いろいろな取組みをご紹介したことで健診を受診したいと思った方、そうでない方を含め、現在町で実施している健診時期をお知らせします。例年町では6月・11月頃に実施し、札幌の健診機関や町内（医療機関や公共施設）で実施しています。

日程の設定には「受けやすさ」を考慮してはいますが、健診後の適切な指導も大きな目的となっています。

特定保健指導を行う方への対応は概ね半年間行います。そのため受診者すべての方の対応ではありませんが、指導期間の確保が限られた検診日設定理由のひとつです。

今後は受診率を上げるために、もっと受診しやすい環境（日程など）を整えることを検討中ですが、本年度まだ受けていない方には、「早くても来年の6月頃まではお待ちください。」となりますことをご理解ください。